



中間テスト、お疲れ様でした。勉強や読書には最適な、爽やかな季節となりました。3年生は共通テストまであと80日、私大入試まで約100日、となりました。まだまだ、やれることはたくさんあり、これからどんどん力がついてきます。自分のこれまでの頑張りを信じ、諦めたり妥協したりせず、最後まで第一志望にしがみついてください。3年生はクラスの雰囲気が非常に大切になってきます。クラスの仲間と…現実逃避するのではなく、互いに励まし合い、高め合う関係でいて下さい。

①【共通テストの『確認ハガキ』が届きました】

大学入試センターから共通テストの『確認ハガキ』327名分が届きました。出願者は担任の先生から受け取ったと思います。『確認ハガキ』の表示内容に誤りがなければ、必ず確認してください。

《 確認事項 》

- ・ 氏名、生年月日、性別、連絡先等、成績通知の有無、受験上の配慮の希望の有無、
- ・ イヤホン不適合措置の有無、試験実施期日(全員が令和3年1月16日・17日のはずです)

⇒ ★ 確認の結果、表示に誤りがある場合、

★ 『登録教科』欄に『検定料が不足しています』などの表示がある場合、

★ 『受験教科等をやむを得ず訂正する場合』

以上に該当する場合は、明日(10月29日(木))までに進路室へ申し出てください。

(センターの締め切りが11月4日(水)(消印有効)で、これ以後の変更はできません)

②【3年生への諸連絡】

● 駿台 『共通テスト 対策問題集』の販売 ⇒ 明後日、受付します

- ・ 共通テストに向けた、最新の予想問題集で、繰り返しやると効果が上がります。
- ・ 各科目5回分の予想問題収録で、見本は3学年室前に展示してあります。
- ・ 明後日30日(金)の昼休みに3階ロビーで受け付けます。
- ・ 購入希望者は各クラスで配布した申込用紙に記入し、代金を用意のうえ、駿台の担当者に提出してください。

● 駿台 a t a m a + プレ共通テスト (12月13日(日)実施) の申し込み … 各自ネットで

- ・ 「公開会場受験」と「オンライン受験」の二通りの受験方法があります。
- ・ 明日、申込用紙を配布・教室掲示します。申し込みは各自ネットで、12/4(金)までに。模試もいよいよ最終回になります。積極的に受験してください。

● オンライン大学説明会 … 一般選抜のヒントが得られます … 積極的にリサーチを

- ・ 学校で予定していた大学別の説明会は中止になりました。
- ・ 各大学がネットを利用して大学説明会や「入試対策講座」を実施していますので、受験予定校のホームページを頻りにチェックし、積極的に参加してください。

以下の大学説明会は案内を配付、または教室掲示しますので、各自で申し込んでください。

- ・ 11月7日(土) 13:00~17:40 Zoom 利用
法政大、日本大、東京農業大、帝京平成大、中央大、東京情報大、聖徳大、城西国際大
- ・ 11月15日(日) 10:00~15:10 Zoom 利用
法政大、学習院大、東京農業大、東京女子大、武蔵大、津田塾大、大東文化大、国土舘大

③. 【 志望校への熱い想いを伝える『 志望理由書 』 】

現3年生から始まった大学入試改革では、すべての入試区分（総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜）で知識・技能（いわゆる学力）だけでなく、主体性や思考力・表現力などを多面的に問う形式が広まっています。その結果、これまではAO入試（総合型選抜）で提出を求められることが多かった『志望理由書』が、ほとんどすべての推薦型選抜で、そして一部の大学では学力検査中心の一般選抜でも提出を必須化するようになっていきます。

しかしいざ「志望理由を書こう」としても、何をどう書けばいいかわからない、と思う人も少なくないでしょう。現在、11月1日以降に出願を控えた推薦型選抜の出願予定者（82名）の多くが、『志望理由書』の作成に取り組み、書き終えた人もいますが、多くの人は志望理由書の作成に苦勞しています。志望理由書は「大学へのラブレター」である、とよく言われますが、志望校への熱い想いを伝える『志望理由書』を書いて、志望校への恋を实らせてもらいたいと思います。

●志望理由書で書くべきポイントは何か？

志望理由書に決まった形式はありませんが、基本的な流れは以下のようにまとめられます。

まず、① 自分の将来の夢や目標は何か。・・・冒頭で簡潔に結論を述べる。

- ・それを實現するためにどのような「学問分野」での学びが必要か。
- ・就きたい仕事や職種は何か(仕事と社会の関わり、社会への貢献という視点を忘れずに)。

次に、② どのような「きっかけ」で、自分が志望する分野の学問に出会ったのか。

- ・自分の体験などを含めて具体的に。ただし単なる思い出話にならないように。
- ・経験を通じて将来の目標を定めたことを具体的に述べる。

では、③ 「きっかけ」から、どのように志望する「学問分野への関心」を持つに至ったのか。

- ・高校時代に取り組んだ活動（勉強や部活動、委員会、生徒会活動、学校行事、学校外での活動など）や頑張ってきたことなどを絡め、それらを根拠・裏付けとしながら、その過程をしっかりと、具体的に述べる。

⇒「この受験生は、本当にこの分野に関心がありそうだな」、
「大学でもしっかりと勉強しそうだな」と思ってもらえるように。

さらに、④ その「学問分野への関心」をどのように「志望する大学での学び」につなげるか。

- ・他の大学ではなく「その大学で」何を学びたいのか、どのような講義や研究室があり、どのような先生のもとで学べるのか、アドミッションポリシーやカリキュラムポリシーに則して、『熱意を込めて』具体的に述べる。
- ・志望校が求める学生像を意識し、自分がいかに志望校にふさわしいか伝えることも大切。
- ・その学校でしか学べないこと、入学後に挑戦したいことについて具体的に触れる。
- ・オープンキャンパスや学校説明会で感じ、体験した事柄も根拠として触れると良い。
- ・ただし、就職率や資格合格率の高さなどばかりを強調しすぎないように。

最後に、⑤ その「大学での学び」を活かして、どのように自分の将来の夢や目標を實現させるか。

- ・冒頭で述べた事柄と結びつけて再度、志望動機、卒業後の展望を強調して一貫性を持たせる。
- ・自分の長所や強みも伝えながら決意を表明する。

- その他 ・「誤字が無いこと（辞書で調べる習慣を）」、・「原稿用紙の正しい記入方法であること」
- ・「読みやすい丁寧な字であること（採点者を意識する）」、・「統一した文体であること」

・志望校を具体的に検討しつつある2年生もぜひ、『志望理由書』を書く練習に取り組んでみて下さい。